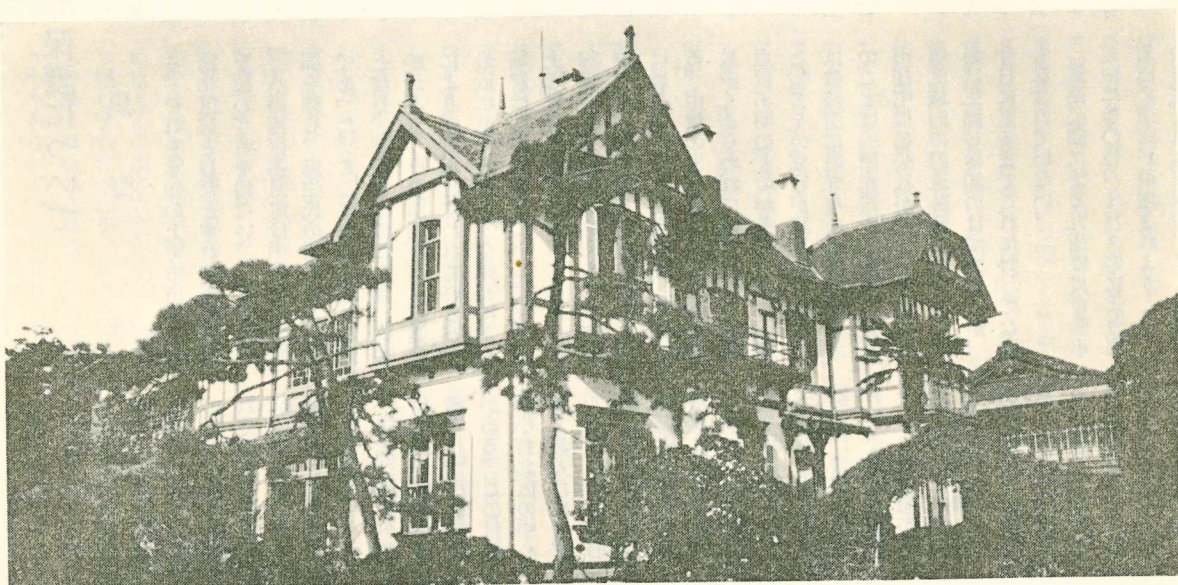


No.9 49. 9. 1

北九州市の文化財を守る会

会報

発行 北九州市の文化財を守る会
北九州市小倉北区城内1-1
北九州市教育委員会文化課内
電話 582-2389



重要文化財旧松本家住宅

三つ児の魂を育てよう
幼児児童ないし青年前期に感動のうちに見たり、聞いたりしたことは生涯忘れ難いことが多い。そこで彼等の生育環境にある有形無形の文化財について、カリキュラムやホームルーム活動を通じ、ロマンも加え楽しく物語り、その関心と興味を適度に刺激することは教師の一寸した配慮でその目的を達し得ると思われ。かつて日米相克のさ中に、米国の一学者が京都、奈良の世界的に貴重な文化財を爆撃の灰燼から救った一事を想出す。私は彼が敵愾心に炎え狂う米国民と軍部に対し恩讐を超えて説得したその信念と勇氣に心をうたれるが、こうした国境や憎しみを越えても文化財を守ろうとする偉大な人物を育てあげた彼の国のヒューマニスティックな教育の底力を他山の石としたい。

まずお母さん
近ごろお母さん達も政治経済や文化について公民館や、新聞社主催の婦人講座に関心が強まってきたが、残念ながら、文化財に対する講座は稀のようである。子供達をこの方向に進める前に、まずお母さん達が関心を示し、教師と協力して、日本の文化遺産の引継ぎ方につきはつきりした信念を培わなければならぬ。またこうした母と教師の協力は、近頃とかく批判されがちな、PTAのあり方に良い方向の一例を示すものであろう。

紫の羽根
何回かの欧州視察旅行のある時のこと、美術館を出たとたん、可愛らしい数名の小学生にとり囲まれた。言葉はよくわからないが、小さいバッジと献金箱を持って熱心に語りかけて来た。通訳によればボランティアの小学生が、この街の文化財保存資金を募っているとのこと、何処も同じと日本に思いを寄せ幾ばくかを献金したが、何となくほほ笑ましい想出であった。赤い羽根、緑の羽根の週間があるからには、文化財を守る週間として、紫(古代色)の羽根街頭に善意を求むることを提唱したい。

文化財相談室

私は最近家の内から一枚の古文書を見つけた。余り達筆でいくら首をひねっても私には読めない。他でもこういうことが度々あるのではないだろうか。何とか気軽に読んで貰ったり、説明を加えていただいたりしたいものである。歴史展の時だけでなくこんなことのために、文化財相談室でも名付けたものを市の基幹となる図書館の中に、文化財資料と共に常設してはどうだろうか。案外、持込まれたものの中に埋れていた得難い資料が発見できるかも知れない。(加瀬康作)

思い出すままに

バスによる文化財めぐり

第八回バスによる文化財めぐりは秋の筑紫路・大宰府を訪ねます。大宰府といえはすぐ都府楼跡や天満宮を思い起しますが、今回は千二百年の歴史をもつ観世音寺の仏像を中心に、仏教美術に造詣の深い八尋和泉氏(九州歴史資料館)の説明を聞きながら見学することになりました。

日時 九月二十九日(日) 雨天決行
参加資格 本会会員
参加料 一人につき千二百円
募集人員 四十五人(先着順)
締切日 九月二十日(金)
申込方法 参加料を添え事務局に申込
申込先 市教委文化課内本会事務局
集合場所 若松区役所前 午前八時
出発時間 戸畑駅南口(消費者センター前) 午前八時十分



守る会創立時からの念願でありました会旗を本年度つくりました。会旗は紺地に文化財愛護シンボルマークを黄色で染め、会の名称を白抜きにしています。このシンボルマークは、文化財愛護運動を全国的に押し進めるため、昭和41年5月に定めたもので、ひろげた両方の手のひらのパターンによって、日本建築の重要な要素である斗椀(組みもの)のイメージを表わし、これを三つ重ねることにより、文化財という民族の遺産を過去、現在、未来にわたり永遠に伝承していくという愛護精神を象徴したものです。

退会されたものとして整理させていただきます。

お知らせ

▽北九州市立郷土資料館では、特別展として、山口県豊浦郡豊浦町の鳥山民俗館所蔵の民俗資料約二百点を展示して「鳥山民俗館展」を開催します。期間は十月一日から二十日まで。
▽北九州市立美術館では、開館記念行事として、「中華人民共和国漢唐壁画展」を開催します。期間は十一月三日から三十一日まで。
▽前号でお知らせしましたように九月末日現在で会費未納の方は、退会されたものとして整理させていただきます。

戒壇院 下野の薬師寺、東大寺とともに日本三大戒壇の一つである
都府楼跡 巨大な礎石は「遠の朝廷(みかど)」の規模を偲ばせる。
なお、九州歴史資料館の見学後天満宮で昼食をいただきます。(昼食時間四十五分)

見学コース(コース順)

九州歴史資料館 昭和四十八年二月開館。特別展「九州の古瓦と寺院」を開催中。
観世音寺 天智天皇が母帝斉明天皇追善のため建立。七十余年の歳月を費して天平十八年(七四六)に完成したもの。数々の重要文化財を所蔵している。

写真で残そう郷土の歴史

砂津カメラ

北九州市小倉北区黒住町商店街9-22
(湯川店) 南区湯川安部山入口
電話 921-8673 (代)

印刷と出版

博文堂印刷所

北九州市小倉北区長浜町2番22号
〒802 TEL (093) 511-1011

北九州地方の郷土史資料
伊東尾四郎編 《既刊》

八幡市史 全1巻
限定三〇〇部/A5・五・六九〇頁
上製本・函入 定価七〇〇円
昭和十一年初刊 工業都市としての発展経緯と古代・中世資料

小倉市誌 続編 全2巻
限定本/A5・総二〇〇〇頁
上製本・函入 揃一七〇〇〇円
昭和三十年迄の通史および補遺
昭和三十年迄の通史および補遺

戸畑市史 全1巻
限定五〇〇部/A5・五・五三〇頁
上製本・函入 定価七五〇円
昭和十四年刊の旧版複製 近世から明治大正の町政に詳しい

若松市史 全1巻
限定本/A5・一五〇〇頁 上製本・函入 揃一三〇〇〇円
昭和十二年刊 若松市の沿革と発達史を綴る貴重な郷土資料

門司市史 全1巻
限定本/A5・九三二頁 上製本・函入 揃一〇〇〇円
昭和八年刊 編年体による沿革史と各時代の諸相を記す大冊

名著出版社

東京都文京区本郷五丁目三番
電話東京一〇七四九四番

本市に於ける埋蔵文化財の保護について

黒野 肇

国土改造に伴い全国各地で自然環境や埋蔵文化財の破壊が盛んに行なわれている。これは本市に於ても例外ではない。遺跡や埋蔵文化財の包蔵地はできうる限り、現状で保存すべきであることは言をまたない。が、急速に開発の進む現在ではすべての遺跡を保存することは困難である。国が開発優先をとえている限り、文化財保護法があつても遺跡保存ということには非常に至難なことである。従つて、記録保存という名目のもとに発掘調査が行なわれ、遺跡がこの世から消えて行く。記録保存とは云つても、現在行つている発掘や記録の方法が最上の方法であるとほけつて言えない。

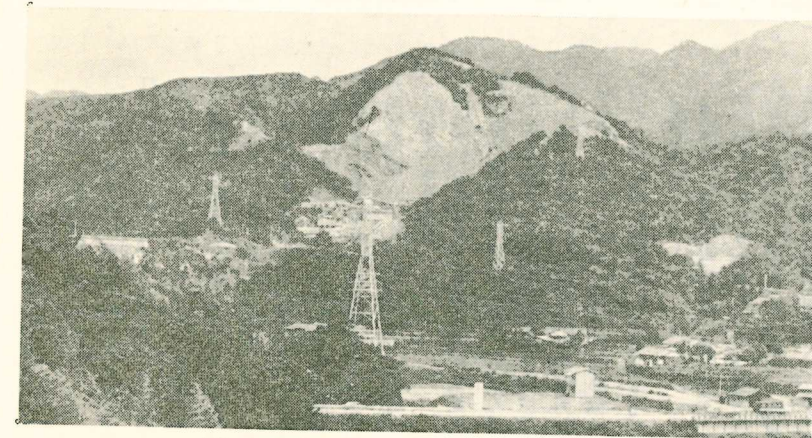
今夏も又、小倉南区朽網地区に於て須惠窯跡群が宅地造成の予定地内にあり、造成の犠牲となるので、事前調査が行なわれている。調査終了と同時にブルドーザーによつて窯跡はあとかたもなく消えさつてしまふ。この地方に於ける(京都郡畑田町をも含めて)古墳時代の須惠窯跡はそのために完全になくなつてしまふ。ここに須惠窯跡群が存在することは、遺跡の分布調査等により周知のほすであらう。

それを承知の上で市当局が市街化区域としたとすれば市の良識を疑わざるを得ない。

八幡西区香月町は中世には香月郷を称し、麻生氏の領するところであつた。ここに山頂を削り平坦となし、空濠を設けた山城、畑城跡がある。その西斜面は採石業者により採石が行なわれているが、最近に至り大がかりな採石により城跡は危機に瀕している。又、頂上部は市内在住の好事家により、陶磁器を採集する目的のため盗掘が至る所に見られ、心ある人達は眉をひそめるような状態である。中世の山城の名は古文書には数多くあらわれているが、その地点は不明のものが多く、今日山城としてその威容が認められるものは数箇所過ぎない。畑城跡破壊のことは、昭和四十六年夏、北九州市住宅供給公社が行なつた造成工事区域内の原遺跡調査の際に市当局は見聞し承知のほすであるが、今日に至るまでこれに対してなにもなされていない。

道路公団による九州縦貫自動車道や二〇〇号バイパス等により路線内の遺跡が破壊されようとしてゐる。これは路線内だけにとどまらず、道路が完成すればその周辺が開発されることも考えておかねばならない。企業による大規模な土地買占め宅地造成地域内には多くの遺跡や包蔵地があり、公団や業者から工事区域内の遺跡調査の依頼が次々と市に対して申込まれているという。このような状態が続けば十年後は市内の遺跡は十指を屈する程度に減じてしまふであらう。

時代は降るが近世の歴史時代の遺構として小倉城跡がある。この付近は小倉北区の中心地であるため、ビルをはじめ各種の建造物が建ち並び城跡としての自然環境は破壊されつゝあつた。折角復原された小倉城の天守閣は十五階建の市庁舎が建設され、その影に隠れてしまった感がある。統いてその後方に近代的な中央図書館が建設中である。これは遺跡や埋蔵文化財を守らねばならない市自体が破壊している例である。



採石が進む畑城跡 (写真提供 轟次雄氏)

今まで文化財の破壊例を累々述べて来たが、市の努力により破壊を免がれたものもある。例えば、本市には三基しかない前方後円墳の中の一基が土取りにより、その前方部を破壊されるという事態が生じたが地主との間に了解がつき、残された後円部は市指定として保存されることとなった。また小倉南区篠崎古墳群や、若松区にある小田山古墳群は古墳公園として残されることとなった。若松区に所在する中世の山城跡である花房山に、電々公社が中継基地を建設する予定であつたが、市側と協議の結果建設位置をずらすことにより城跡は破壊されずに残されることとなった。この山城は頂上部に平坦面があり、空濠をそなえたものである。破壊される数からすれば、保存される例は九牛の一毛にしか過ぎない。

最後に「文化財を守る会」の在り方について述べたい。「本会の事務所は、当分の間、北九州市教育委員会文化課内に置く」とあり発足当時より不審に思つてゐるのは私一人だけではないと思う、北九州市の「文化財を守る会」は、市が音頭をとつてつくつた会である。

毎年行政発掘が行なわれて来たがこれに対して、今まで「文化財を守る会」より一度も抗議の声を聞いたことがない。行政発掘により次々と消えて行く文化財にたいして、これを守り後世に残そうという市民の盛り上りによつて出来た団体でなければ、文化財を守り抜くことは出来ないと思う。

写真の畑城跡は昭和四十八年三月に撮したもので、現在ではこれの倍以上の山脈を現わしている。(筆者は北九州市文化財調査委員、日本考古学協会会員として考古学の分野で活躍されている方です。)

投稿

会員のみなさんから、次の原稿が寄せられました。

本紙は会員のみなさんのものです。

文化財についての意見、所感あるいは研究のものなど、何でも結構ですから投稿ください。

黒崎祇園

八幡西区 加瀬康一

慶長五年黒田長政が豊前中津から福岡五三万石に移封されたとき、行橋今井祇園社の由緒に感じ豊前と筑前の国境の前田村に勧請した(古文書に藤田村と前田村の境界の更暮山の西の麓の広原の地に鎮坐するとある)この地を現在の前田祇園とされている。これを筑前六宿の東端にあり最も繁昌した藤田村春日宮に併祀し、やがて熊手岡田宮にも迎えられ、毎年七月十一日岡田宮、十二日春日宮の御幸幸渡御の祭事となり黒崎祇園が行なわれるに至つた。この御幸に風従する熊手、藤田、舟町田町、屋敷等に山笠がたてられた。山笠に就ては別の伝承がある。

慶長七年井上周防が道伯山に黒崎城(隈崎)を築いたとき郷民が笹山をたててこれを祝した、そのとき山笠囃のテンポが緩い御神楽調であつたのを、黒崎城の武士達

が関ヶ原合戦直後のことであり陣的の太太鼓、小太鼓、鉦、ホルンの音をミックスした黒崎祇園山笠独特の囃を編み出したと云う。

黒崎祇園の山笠がいつ頃から始められたか正確な史料はないが、子供の頃古くから聞いた記憶では、宿場時代盛んだった山笠も暮末騒然時代から絶えていたのを、明治二十年頃黒崎に疫病が流行したので、厄除け祈願として再び山笠行事が行なわれたと、特に昭和初め頃までは「喧嘩山笠」の異名がある程、町全体が若若男女渾然と祇園祭に融け合う賑いであつた。

黒崎祇園の特色は豪快な大太鼓乱れ打ちの小太鼓の乱調、二つのリズムを統一調和する鉦の冴えた音、勇壮なホラ貝の音、これが一体となって豪快なリズムを奏し、悪く云えば、嫌でも山笠同志が激突せずには居られない雰囲気を感じたのである。同じように聞こえる山笠囃ではあるが黒崎に育つた人なら熊手、藤田、舟町、田町の太鼓の音にそれぞれの特色があり戦前までは太鼓の音でこの山笠か女でも判断していた。戦中戦後の長い空白と戦後黒崎の急激な発展で各地方の調子が持ちこまれ一時はどこの国の太鼓の調子かとも怪しまれたものが、保存会の努力で漸く戦前の正統なリズムに戻りつつあるが、十余年間競演会の審査委員長を勤めた私に遠慮なく

伊勢音頭

門司区 石崎 巖

云わしてもらえば、各山笠の特長のリズムは消え失せ、どの山笠の囃も同一化して手先で器用には打つが、昔のような鍛えあげられた躰で自然に打つ枯れた澄んだリズムは聞けなくなつたと云いたい。

占領軍の政策もあつて歌謡曲が盛んとなり若は歌また歌で賑い今日では軍艦マーチも聞けるようになった。民謡もほとんど電波にのつて万人の耳に流れこみ唱われている。だが一つ取り残されたものに伊勢音頭があるような気がする。あの威勢のいい伊勢音頭がいつの時代にどうして流れこんだのか北九州殊に大里では神輿歌として盛んに唱われていた。

この歌は単に神輿歌としてだけでなく労働歌として作業をしながら唱つて疲労を忘れ調子がいい。伊勢音頭だから歌詞も伊勢地方のものが多いがこの地方のものも折りこまれていた。二、三を挙げてみると、

「伊勢は津でもつ津は伊勢でもつ尾張名古屋は城でもつお伊勢様ほど金持ちやないがなぜに宮川橋かけぬ世田の唐橋唐金の擬宝珠 大工手柄か金せきか高いな権現様大里の神よ 九月二十日は里帰り

観劇対話

吉永 洋史

文化財愛護少年クラブ

司会 テレビっ子なんて言われて来た、テレビ育ちの君達だが、

くるかくるか浜に出てみたが何を待つやら松ばかり」

またこの音頭と併せて神輿を練る動作が他所に見られない荒々しくすさまじい練り方であつた。神輿を肩から降ろし担棒を両腕でしっかり抱きこみ一側を高く上げれば側が低く、それを交互にくり返す。あの激しいローリングの動作はどこの神輿にも見られなかつた。これも伊勢地方から伝わったものではあるまいか。また不思議なことに伊勢地方の農家の建て方がこの地方と全くよく似ている。天井も大和天井と云う方式が伝わっている。伊勢音頭と神輿の練り方は残したいものである。

高一男B 僕も初めてで、言葉がところどころ分らんやつたが、ジュエチャーで理解できたから外人が見ても意味が分かると思つた。

中三男A 役者のメーカーヤップや動き方が、人形劇の人形に、似

伝統芸術番組なんか、案外見えない様子だね。今度の青少年芸術劇場の観劇が、初めて歌舞伎との出会だと言ふ人がほとんどだろう。素直に思つた事、感じた事を話し合つてごらん。

高三男A 観る前は、年寄り向きの堅苦しい物で、僕達にはピタッと思つたが……

以外と楽しかったの。

中三女B 生まれて初めて見たんだけどー筋は、大体分かりました。動作や、目の動き、生の声などに芸の力を強く感じちゃつた。

高一男B 僕も初めてで、言葉がところどころ分らんやつたが、ジュエチャーで理解できたから外人が見ても意味が分かると思つた。

中三男A 役者のメーカーヤップや動き方が、人形劇の人形に、似



実盛物語の一場面

ていたんじゃないかなあ…、観客の目は皆引き付けられていたね。

中三女 A セリフの意味が、よく分からんところがあつたです。でも、女の人がすごくきれいで、男の人とは思えなかつたのと、切れた手を縫いだり、首を切ったり思いがけないアイデアにびっくりさせられた。

高二男 A 昔の人のユーモアに感心しちゃつた。狂言なんか、今頃のドタバタ漫才とかと違つた何と言うか、全然別の意味での面白さ…、洗練された芸術性と言ふのか…、何しろスカツとしていたなあ…。

高三男 B 狂言の時、ステージの上に楽器を持ってズラツと並んだ人達の動作から、オーケストラの迫力みたいなもの感じたよ…、鳴物って言うんですか…、すごく新しいリズムを感じたな

高一男 A 一つ一つの動作が、踊りの様に見えた。身体の動きで言葉以上に感情を表現できるんやのー。

高三男 A 主役を押し出すちゅうか、立派に見せる為に、皆が努

力を惜しまないでやっている様に見えた。

高一男 C 僕は、楽器としくさがピッタリ合つた感じで、今までテレビなんかで見た劇と全然別の質の違つた物に思えた。

高一女 A 幕の途中で入れ替つた浄瑠璃の人の声の出し方が、前の人と違つてるなあと気付いた時に、役者の役の表し方らうか、感じが違つていたので感心した。

高一女 B セリフが、歌の様な調子でリズムに乗っている感じが面白かつたわね。

高三男 G 黒い着物を着た人が出るでしょう。黒衣ですか？見えない決まりだそうですが…、あれなんか、世界のどこの劇でもないんじゃないですか？、思い切つた事するよね、死体を片付けちゃつたりとても面白かつた。

中三女 C 馬も楽しかつたよね。動作を見ていると足の人が苦勞しているなあとと思つた。

最後に、舞台裏の人達全員の前が見たかつたです。

高三男 B 一回だけじゃどうもならんわねー、アレヨ、アレヨで夢の中の中に終つた感じだね、色々違つた物を見る機会が欲しいよ。この次も是非見せて欲しいです。

司会 独特の約束事や見方があ

るので本当は、事前にしっかりと勉強して見ないとその深さとか良さとかが分からんと思うよ。

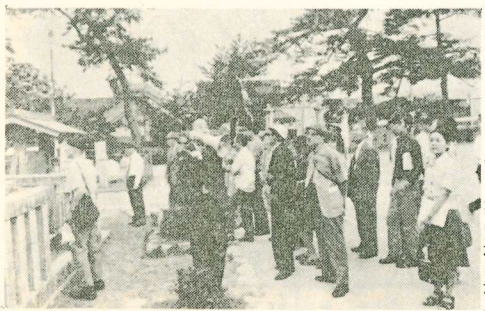
君達は、めつたに観る事が出来ないだろうが、これを機会にテレビの劇場の中継でも利用して見ることだね、出来たら歌舞伎座の本舞台で全幕通して見せたいよね。民族文化は、其の民族の心々と言われている、それを大切に受継いで行くのは、君達青少年だからね。歌舞伎だけでなく、積極的に色々の体験学習に参加して欲しい。

【注】文化庁では、青少年に優れた芸術を鑑賞させるため、毎年地元教育委員会と共催で、「青少年芸術劇場」を実施しています。今年には去る八月六日、戸畑市民会館で歌舞伎「実盛物語」素襖落一が公演されました。この記事は、それを鑑賞しての感想を述べたものです。

萩市内の史跡めぐり

若松区 森川政美

天気予報を気にしながら傘を持って家を出る。今日は第七回文化財めぐり、行先は山口県萩市の見学、気は浮き立つが、梅雨前線の停滞で雨雲が厚い。若松区役所前で市営貸切バスに申込み七時三十分刻出発、若戸大橋を一気に渡り小倉駅裏にて全会員乗車、ボーイスクウトの一同も文化財愛護の



新しい会旗を先頭に参加される。山手有料道路を通過して高さ六メートルの関門橋もガイドさんの説明の間に行き過ぎた。満珠、干珠の島々も霧の下である。

萩街道の山路を車はひた走り、十時五分萩市明倫館跡に到着。心配した空も明るく緑の木々が目にしみる様に鮮かである。公害の北九州を逃れて清浄な萩の空気を腹一ぱい吸い込んだ。

ここで萩市郷土博物館の田中誠先生に史跡の御説明と、市内の御案内を願う。明倫館は萩藩校として嘉永二年に建てられ、文学、兵学、医学を教え、日本三大学府の一つと称されたとの事で、維新の推進力となつた長州藩の心意気がしのばれる。校庭の水練池は名の通り泳ぎの練習場で、乗馬のまま泳いだ事もあつたとか、池の辺に松の

大木が美しく水に映え、紅顔の藩士の子弟が水に跳ねている姿が目に浮かぶ様である。大亀に乗つた藩校碑文のいわれなど聞き、それより歩いて武家屋敷を見学する。国指定重要文化財、又は国指定史跡として町は良く保存され、崩れた土塀は旧工法で修復されて我々見学者の眼を楽しませてくれる。百年前の町の姿を其のまま残す事は非常に困難な事で、時代を逆行するむつかしさは我々の想像以上であらうと思われるが、城下町萩の人々は、よくそれにたえ、町一丸となつて史跡保護に心を配つて居られる事に頭が下がる思いである。木戸孝允旧宅、高杉晋作旧宅と歴史上の志士の跡を尋ねる。狭い町筋には観光客の乗用車が列をなし、カメラシャッターを妨げなす。緑高、家格によつて門の大きさが違うなど封建時代の厳しさが感ぜられる。

武家屋敷の角から広い日除帽子の娘さん三人、すいすい自転車のペダルを踏んでやつて来た。赤、黄、ピンクと、色とりどり土塀や白壁に映えて美しい。尋ねて見ると貸自転車で史跡見学の事。やつと指月公園近くになり厚狭毛利長屋を見学、昭和四十三年解体修復されて、現在萩に残っている武家屋敷では最古のものとか、姫君の駕籠や調度品の数々を見て手造りの美しさに魅せられる。

萩焼の陶器店や土産物屋の狭い路を人に押されて公園に入る。橋を渡ると左手天守閣跡、奥が志都岐山神社、うしろの原生林が指月山、椀をふせた様な品の良い山で昔山頂に本丸があり、詰丸跡と呼ばれているとか。

自在庵、梨羽家書院、福原家書院と見て回り東の展望台で小休止すぐ眼の下が海で底の岩まで透いて見える。菊ヶ浜海水浴場、女台場、遠くは明神池のある笠山まで展望、白砂青松、長門海岸国定公園の名にふさわしい風景である。

二時間近く歩いたので多少、疲れた会員もあつた様だが、史跡は足で見て回るもので、心地よい満足の疲れでもあつた。駐車場よりバスに乗り反射炉を右手に見て明神池に着いたのが、十三時十三分潮の香りと食堂のさざえの匂が鼻にただよい、腹の虫がきゅきゅ鳴る。一時間の自由行動で思い通りに散会、我々は食堂風穴の店に飛込む。店の横から薄暗い奥に入ると有名な風穴がある。岩穴の入口は年中摂氏一〇度、手をかざして見ると冷蔵庫の中の様である。名

づけて天然冷蔵庫。十四時三分明神池苑、東光寺、松陰神社と見学、それぞれ先人の偉業をしのびつつ帰路につく。

途中車は秋吉台高原を走る。石灰岩の露出した草原に乳牛が群れをなし、のどかに草を食む姿は阿

蘇の草原を見る様である。帰りの車中は、ガイドさんが離合車台数当りのクイズを出し、総員和気譚々の内、一等、二等、当らん賞などがでる。小生二等賞品を戴いて喜んだのも束の間、下手な歌を歌わされる。上手な方の歌も次々出て車内が賑つた頃、車は小倉に着き、最終若松着が十八時二〇分であつた。今回の史跡めぐりの特色は時間をかけて綿密に足で回つた事で、数度萩に来た会員でも、今回ほど良く見せてもらった事はなかつた、と感謝されてた。先ず道案内と詳細な説明をして戴いた田中誠先生に厚くお礼申上げると共に、企画された事務局の方、安全運転の運転士の方、終始笑顔で賑わせて下さつた美声のガイドさん、ごころう様。終りに市内見学の際、後になり先になり人員掌握をして戴いた北九州第四十八団のボーイスクウトの皆様に御礼申上げます。今後共、社会の為、文化財愛護の御奉仕をお願い致します。

文化財パトロール対話

久保 英二

司会 文化財を守る会に入会して三年目に、パトロール団旗を授与され、初めての文化財パトロールのサポートに団旗を持って萩に行つたが、君達パトロール隊員から見た、バスパトロールについての感想なり意見なりを

述べてもらいたい。

B・S隊長 バスパトロールのログラムに、無理があつたのではなからうか？時間の配分が研究不足のようだ。一番時間が欲しいかつた松陰神社など駆け足になつてしまつた。状況によつてはバスの中で弁当をつかつても良いのではなからうか？

高一男 A バスパトロールの支援は初めてで、まごついてしまつたが……会員の皆さんが、それぞれ好きなと言うか、自由な行動を取られるのでまとめるのに苦勞した。

高二男 先頭集団と最後尾は二〇〇米も伸びてしまつて、折角の講師の説明もほとんど聞かずに終つて残念だつた。

短大一女 途中で萩焼を買つたりワカメを買つたりどうしても女性には道草をくいがちになるわね

高一男 B 女性だけではないですよ。男性はカメラに時間を取られるし…(無理ないよ//写した場所ばかりだもん)

高一男 C 武家屋敷なんか一軒一軒、庭に入りこんだりして。一般開放してない家もあるんだからなあ…ひどいよ。

B・S1 車が来ても道の真中をゆうゆうと歩いていて避けようとしないう人もいたけど、車の人がおとなしくてどならなかつたからほつとした。

B・S2 よその家の中でも庭でも公園でもタバコの吸いながらポイと捨てる人がいて恥ずかし

かつた。

高一女 バスの中では、皆おとなしくてとてもいい人ばかりだつたのね。

B・S3 説明の講師は一生懸命だつたのに聞いていたのはほんの少しの人だつた。もつとかつたまで聞かないとわるいと思つた。

高一男 D 途中でトラブルがあつても残念だつた。会員の一人が地元の車を止めてしまつて車の人からどなられたね。

高二男 先生が飛んで行って、こ

とわり言つてそれで終つたが、北九州の文化財を守る会だかなんか知らんが恥を知れとすこいけんまくだつた。

高一男 E 高校の野球のコーチかなんかのユニホームを着ていたようだつた。

司会 会員の人は後で迷惑かけて申訳ないわびてくれたよ。悪い人じゃなかつたけどね…車を止めてボンネットをたたいたものだから…B・S隊服はあんな時に都合がいいね。

短大一女 他の一般の観光客と見わけがつくようにリボンかなにか、用意して置くとかかつたわね。終りまで顔を全部覚えられなかつた。

高一男 F 出発前に詳しい行動注意を渡して読んでもらい事務局

の人に特別に話しをしてもらわんとぼくたちは注意しにくい

です。

B・S3 庭の石のコケを手ではいで字を読んだり道端の指導柱を足でけつとばしたり、どうかと思ふなあ。

B・S隊長 全部の人じゃなくてほんの一部の人達がつい心ない事をしたようだが、守る会のあり方を問われることだからマナーは、やはり厳しくないかね。

司会 何かこの次まで改善して欲しいアイデアなどは…。

高二男 会員にリボンもいければパトロールも腕章をつけるかどうかしてはつきりわかるようにしないか…。B・Sはつきりしているからよいけど。

B・S隊長 列が長くなる場合のことを考えると隊のトランシーパーを一セット持つて行くべきだつたね。

司会 手旗、ロープ、ナイフ、救急箱、ゴミ袋等非常装具以外に小さな団旗を一、二本持つて行くようにするかね。巡回パトロールと比べて支援パトロールの方が意味では、むずかしいよね。第一に事故に気を付けてね。第二に会員の研究と楽しみを邪魔をしないこと。第三に文化財の保全と観察に心を配る等、色々あるがサポート隊としても、もつとがんばらなくては…。会員の人数がいやに厳しさを要求する形になつたが自分達のことではどうかあ…。次の例会まで反省をまとめてもらいたい。